

令和5年台風第6号に関する被害状況等について（第7報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（8/7 06:00）

- 台風第6号は、2日に沖縄本島地方に接近し、沖縄本島地方では50メートルを超える最大瞬間風速を観測した。また、過去最高潮位を上回った地点があった。
- 台風は、奄美地方付近を東にゆっくりと進んでいる。これから進路を北に変えて、勢力を維持して北上し、9日以降に九州に接近するおそれがある。
- 台風の影響で、9日にかけては、沖縄地方、九州南部・奄美地方及び九州北部地方では、非常に強い風が吹き、大しけとなる。四国地方では9日にかけて大しけとなる見込み。これらの地域では、暴風や高波が10日にかけて続くおそれがある。特に、九州南部・奄美地方では、8日は猛烈な風が吹いて猛烈なしけとなり、9日には九州北部地方で猛烈な風が吹く見込み。
- 奄美地方では8日にかけて潮位が高くなる所があり、西日本でも8日以降は潮位が高くなる所がある見込み。
- 台風本体や台風周辺の発達した雨雲により、沖縄・奄美や西日本から東日本にかけての太平洋側では10日にかけて、雷を伴った大雨となる。九州南部・奄美地方では8日午前中にかけて、線状降水帯が発生して大雨災害の危険度が急激に高まる可能性がある。
- 九州南部・奄美地方では土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫、暴風や高波に厳重に警戒。九州北部地方では、暴風に厳重に警戒、沖縄地方や西日本の太平洋側を中心とした地域では、大雨災害、暴風、高波に警戒。高潮、落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

2 体制等

- 警戒体制：沖縄総合事務局、気象庁
- 注意体制：本省、九州地整、国土地理院、国総研

3 一般被害情報（消防庁 HP 8/6 11:00 時点）

- 住家被害
 - ・半壊4棟（沖縄4）
 - ・床上浸水5棟（沖縄5）
 - ・床下浸水1棟（沖縄1）

4 被害情報等

(1) 河川 (8/7 06:00 時点)

○国管理河川

- ・被害情報なし

○都道府県管理河川 (2 水系 2 河川)

- ・沖縄県管理の満名川水系満名川、轟川水系轟川にて浸水被害を確認 (詳細確認中)。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2) ダム (8/7 06:30 時点)

○洪水調節 (事前放流を含む) を実施 54 ダム

54 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 53 ダム

- ・事前放流を実施 33 ダム (うち、利水ダム 23)
- ・すでに事前放流の容量を確保 20 ダム (うち、利水ダム 8)

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

(3) 砂防

○土砂災害 (8/7 7:30 時点)

- ・2 件 (宮崎県 1、沖縄県 1)
- 人的・人家被害なし

○土砂災害警戒情報 (8/7 06:30 時点)

1 県 26 市町村に発表 (沖縄県)

※全て解除済み

(4) 道路 (8/7 06:30 時点)

○高速道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：2 路線 11 区間

E58 沖縄自動車道 (那覇 IC～許田 IC) 【10 区間】：雨量基準超過

E58 那覇空港自動車道 (南風原北 IC～西原 JCT) 【1 区間】強風

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：なし

○補助国道

被災等による通行止め：2 路線 2 区間

国道 449 号（沖縄県名護市）：路面冠水

国道 505 号（沖縄県名護市）：土砂崩れ

○都道府県道等

被災等による通行止め：2 県 5 区間

宮崎県 1 区間（路肩崩壊 1）

沖縄県 4 区間（倒木 1、土砂崩れ 2、路面冠水 1）

(5) 鉄道（8/7 06:30 時点）

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：なし

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合せている路線】：1 事業者 2 路線

JR九州：日豊線、日南線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空（8/7 06:00 時点）

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

1 日 欠航便 476 便（JAL95 便、ANA124 便、その他 257 便）

2 日 欠航便 475 便（JAL97 便、ANA124 便、その他 254 便）

3 日 欠航便 304 便（JAL76 便、ANA75 便、その他 153 便）

4 日 欠航便 206 便（JAL14 便、ANA42 便、その他 150 便）

5 日 欠航便 423 便（JAL95 便、ANA102 便、その他 226 便）

6 日 欠航便 443 便（JAL119 便、ANA102 便、その他 222 便）

7 日 欠航便 137 便（JAL86 便、ANA30 便、その他 21 便）

(7) 海事（8/7 06:00 時点）

○被害状況等

・なし

○運休状況等

・38 事業者 40 航路運休

(8) 港湾（8/7 06:00 時点）

○港湾施設（海岸保全施設を含む）の被害状況

・中城湾港（沖縄県）にて、一部護岸の損傷あり。港湾利用に支障なし。

○利用規制

・泊大橋、なうら橋、カーミージ橋（那覇港の臨港道路）：

8/1 通行止め、8/3 解除、8/5 通行止め、8/6 解除

- ・サザンゲートブリッジ（石垣港の臨港道路）：
8/2 通行止め、8/3 解除

(9) 自動車（8/7 6:30 時点）

○運休状況等

- ・高速バス：運休、一部運休なし
- ・路線バス：5 事業者 11 路線運休、3 事業者 3 路線一部運休
- ・宅配事業者：大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等

(10) 海岸（8/7 07:00 時点）

- ・名護市汀間海岸（沖縄県管理）：道路維持工事で設置した仮設道路護岸が崩壊。（家屋等への影響なし）

(11) 物流施設（8/7 06:00 時点）

- ・沖縄県の営業倉庫 3 棟において壁、扉の一部損壊等（営業に影響なし。）

(12) その他（下水、公園・都市、観光）関係の状況

- ・被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

- 国土交通省災害対策連絡調整会議（7/31、8/3）

(2) 記者会見等

- 共同取材（気象庁、水管理・国土保全局 8/4 14:00）

(3) ホットライン構築状況

沖縄の 41 市町村とホットラインを構築（沖縄 41）

(4) TEC-FORCE 等

- JETT：2 県へ 4 名を派遣（岐阜県庁 2、高知県庁 2）

6 気象庁の対応

- 気象庁災害対策連絡会議を開催（8/4）。

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒の呼びかけを実施。

○8/4 には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。

○各地の気象台は、警報等を適時に発表するとともに、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣（のべ 39 人・日）やホットライン等により、警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

7 海上保安庁の対応 (8/7 06:00 現在)

(1) 体制

- 第十管区海上保安本部
非常配備発令
- 第十一管区海上保安本部
警戒配備発令

(2) リエゾン派遣

- 8/4 沖縄県 (2名)
- 8/5 沖縄県 (2名)
- 8/6 沖縄県 (2名)

(3) 対応状況

航空機による石垣島及び宮古島沿岸部の被害状況調査実施、被害を認めず。(8/6)

(4) 被害状況

- 沖縄県石垣市沖で乗揚げていたパナマ籍貨物船の船尾部が破断 (8/4)
「XIN HAI ZHOU 2」の船尾部が破断し、転倒している状況を確認。現在まで油の流出認めず。

(5) 自治体等からの要請

- 沖縄県 (沖縄電力)
 - ・停電復旧作業のため、渡嘉敷島、伊是名島、大神島への資機材及び人員の搬送要請
 - ・沖縄本島への沖縄電力宮古島支所職員の搬送要請
→対応可否検討中
- 沖縄県 (NTT 西日本)
通信設備復旧のため、伊平屋島への資機材及び人員の搬送要請
→対応可否検討中

(6) 航行警報等の発出状況

- ①航行警報 8件
- ②海の安全情報 13件

(7) 港湾における避難勧告等の発出状況

- ①第一体制 (警戒勧告) 32港
- ②第二体制 (避難勧告) 5港
- ③臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況
 - 7/30 那覇空港 (8/7 02:00 解除)
 - 7/30 吉の浦火力発電所
 - 7/30 沖縄石油基地
 - 7/30 沖縄ターミナル
 - 7/31 志布志国家石油備蓄基地

(8) 当庁施設等の被害状況

- ・ 喜屋武埼灯台（消灯）
- ・ 那覇港第四号灯浮標（消灯）
- ・ 伊平屋島灯台（消灯）
- ・ 金武中城港石川第二号灯浮標（漂着）
- ・ 西表白浜港第一号灯標（消灯）
- ・ 長山港第六号立標（消灯）
- ・ 伊計島灯台（消灯）

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林 代 表：03-5253-8111 内線35-822 直 通：03-5253-8461
